

雪合戦が3年ぶりに復活！

2月5日(日)に、高野スポーツ広場にて、実に3年ぶりとなる第26回広島県雪合戦大会「雪合戦ひろしま2023 in高野」が開催されました。

当日は庄原市内外からたくさんの観客が訪れ、久しぶりの開催を喜んでいました。

会場には、交流のまち大崎上島の焼き牡蠣などの屋台も並び、道の駅にも雪合戦の観戦に来られたお客様に多くお立ち寄りいただきました。

今年初めてボランティアで雪合戦大会に参加したスタッフは、タイムキーパーの最中に雪玉を被弾、青あざが出来てしまうハプニングも…。想像以上のスピード感と迫りに圧倒されていました。

道の駅たかの
(広報・企画グループ)
庄原市高野町下門田49
☎0824-86-3131

michieki_tak@takanoyama.jp
<https://www.takanoyama.jp>
★Twitter・インスタも更新中♪



コロナ禍で2年間開催できず、今年は「復活」と銘を打っての開催となりました。

出荷者サポート室より

今号より、「出荷者サポート室」のメンバーを紹介していきます。なにかお困り事があるときは、サポート室のメンバーにご相談下さい♪



お任せ
下さい！

おかむら じゅん
出荷者サポート室長 岡村 淳

皆さん、いつもたくさんの出荷ありがとうございます。出荷者サポート室の岡村淳です。道の駅たかのが11年目を迎える中で、多くのお客様に支持されているのは、皆さんが出荷される「魅力ある商品」の力だと強く感じています。

しかし、今日までには、西日本豪雨の影響から、のり面崩落の危険性により高野IC下りから降りることができない状況が発生したり、天災による様々なトラブル、昨今のコロナウイルスによる行動制限など、本当に困難が待ち受けていました。

困難を迎えるたびに、皆さんと知恵を出し合い、外部への販売取組みや、通信販売など、来店が難しいお客様に対して、その時にできることを実践してきたことも今に繋がっていると思います。

一方その間には、度重なる食品表示法の改正や、トレンド商品の変化、間もなく開始されるインボイス制度など、皆さんの商品製造・出荷、売上に対して大変関係のある出来事が待ち受けているのも事実です。皆さんが「難しい」と思うことにお手伝いさせてもらうことが、サポート室の役割だと思っています。今年度は、積極的に上記を踏まえた勉強会の開催や、視察研修会を出荷者協議会の役員の皆さんと計画していきますので、よろしくお願ひします。



昨年の11月に出荷者協議会に入会した雪月風花の丹原と申します。

農業自体は9月からスタートしました。元々は住宅設備関係の仕事をしており、農業とは全く縁の無かった私ですが、実家の周辺に耕作放棄地が多くあり、これはビジネスチャンスだと感じ就農を決意しました。現在は私を含む3人のメンバーで春蒔きに向けて、耕作放棄地の開墾と50種類以上の苗を育苗しています。

当然、農業のノウハウなどは無く、近隣の様々な農家さんを回ったり、自分達で調べつつ日々勉強しながら独自の栽培ノウハウを身につけようと奮闘中です。

畑にはバーク（木の皮）を敷いて微生物の活動を活発にしたり、ウッドチップを散布し、ぬかるみを防ぐことで作業効率を上げるなど様々な工夫を施しながら、少しずつ農地を広げています。

今後は、年間を通して100品目の野菜を出荷することを目標にしていますが、一般的に市場にあまり流通していないような珍しくて栄養価の高い「スーパーフード」と言われる野菜、例えばケールやビーツ、スプラウト等を主に出荷する予定です。農業を楽しみながら庄原を盛り上げていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します！



適温に保たれた温室で育苗される苗。現在50種以上を育苗中。



害獣対策には、開墾の際に伐採した竹でフェンスを構築。

室戸の野菜販売中♪

冬の庄原は生鮮品が少なく、売場づくりに大変苦戦する時期ですが、今冬からは昨夏より交流が始まった高知県室戸市の「道の駅キラメッセ室戸」の旬野菜を販売中♪

室戸市は夏場に野菜の出荷が激減するとのことで、昨夏は庄原からたくさんの野菜をお届けしました。逆に今冬はトマトやピーマン、きゅうりといったこの時期の庄原では手に入らない野菜が室戸では最盛期。お手頃価格で届けてもらっています。

野菜が届く日は限られていますのでスタッフにお気軽にお問い合わせ下さい♪



きゅうりやピーマン、トマト、菜の花などが並び室戸コーナー